

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会
 でおめでとうございます！

● 1. 平成28年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術

- * * * * *

◆ 1 ◆ 平成 28 年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術
移転加速化事業及び地域産学連携支援事業

☆平成 29 年度農林水産省競争的研究資金制度説明会

東海農政局と NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会は、民間企業、試験研究機関、大学等を対象として、平成 29 年度の農林水産省競争的研究資金制度等の公募説明会を下記の通り開催いたします。

【開催日時】平成 29 年 1 月 16 日（月）14：00～16：00

【開催場所】ウインクあいち 11 階 1104 会議室

（愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4－38）

ウインクあいちへのアクセス <http://www.winc-aichi.jp/access/>

【内容】

(1) 平成 29 年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業の公募について

(2) 平成 29 年度「知」の集積と活用場による研究開発モデル事業の公募について

説明終了後に、NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会による個別相談会を行います（～17：00）。個別相談を希望される方は、その旨を別添の参加申込書に記載して下さい。

【主催】農林水産省東海農政局、NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

【募集人員】80 名

【お申込み】別添参加申込書に必要事項を記載し、平成 29 年 1 月 13 日（金）12 時までに、FAX 又は、メールにて NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会へお申し込み下さい。

申込用紙：下記の東海農政局ホームページからリンクされています。

http://www.maff.go.jp/tokai/press/seisan_kankyo/161227.html

お申し込み先：NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会（大石、道村）

TEL&FAX: 052-789-4586 E-mail: bio-npo2@4.dion.ne.jp

【お問い合わせ先】東海農政局生産部生産技術環境課 担当者：安達、畔柳（くろやなぎ）

代表：052-201-7271（内線 2264）

ダイヤルイン：052-746-1313 FAX：052-218-2793

.....

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆戦略的技術開発体制推進セミナー

～農林水産関連分野のネットワーク強化による農林水産・食品産業の成長産業化にむけて～

（JATAFF）

我が国の農林水産業・食品産業の喫緊の課題である競争力強化に向けて、農林漁業者が現場で直面する技術課題を戦略的に解決するため、生産者の相談窓口となる拠点機関を中心に、民間企業・大学・研究機関等による研究ネットワーク構築が必要です。本セミナーでは、最新の農政状況や研究ネットワークの先進事例等に関する情報提供を行います。

【開催日時】平成29年1月27日（金）

【開催場所】レセプションハウス名古屋通信会館

【講演内容】プログラム（予定） 13:00～17:00

事業趣旨説明 農林水産省

講演1 研究ネットワークのねらい（仮題）

（公財）未来工学研究所研究参与 太田与洋氏

講演2 オランダの食品産業に勝つために今我々がなすべきこと

TNO Food & Nutrition 日本代表 西出 香氏

講演3 研究ネットワーク国内優良事例紹介

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

講演4 研究成果の実効的な生産現場への展開を目指して（仮題）

農業生産法人等の先端的生産者

パネルディスカッション

導入スピーチ/ファシリテーター

フィールド・フロー（株）代表取締役 渋谷 健氏

【主催】公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

【お申込み】下記 URL よりお申し込みください。

<http://www.ifeng.or.jp/news/agnet>

申込み関係事務局：公益財団法人未来工学研究所

担当：小沼、多田、三重野

TEL：03-3586-8644 FAX：03-3586-8277

.....

☆起業講座シリーズ ― 21世紀に輝く女性たち― 起業・産業・地域・世界の様々な「場」
で活躍する女性たちの「働き方」「生き方」― （名城大学）

【開催日時】平成28年12月14日（水）～1月11日（水）の間に3回開催

【開催場所】名城大学天白キャンパス 共通講義棟北1階 N-101（名城ホール）

地下鉄鶴舞線 塩釜口下車、1番出口（右）徒歩4分

【開催案内】<http://www.meijo-u.ac.jp/event/detail.html?id=dYBNcl>

【参加】参加費無料、参加者は直接会場へおいで下さい。定員600名

【問い合わせ先】名城大学経営学部事務室 TEL：052-838-2051

.....

☆第27回 中部バイオテクノロジーシンポジウム （NPO法人バイオものづくり中部）

【開催日時】平成29年1月17日（火）13:30～16:30

【開催場所】愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12階

(名古屋市中村区名駅4-4-38)

名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分

会議室1202 (12階): 基調講演、講演1~3

会議室1206 (12階): コーヒーブレイク、懇親会

【内容】

ご挨拶 (13:30~13:40)

基調講演 (13:40~14:30)

「名古屋大学における医療機器開発の新しい取組について」

名古屋大学 医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センター

副センター長・病院教授 水野正明氏

講演1 (14:50~15:20)

「桑名市総合医療センターの地域食材を使った新しい取組み」

桑名市総合医療センター 理事長顧問・管理栄養士 岩田加壽子氏

講演2 (15:20~15:50)

「嚥下食とその周辺規格」

ニュートリー株式会社 R&D 部 第2商品開発グループ長 谷山洋平氏

講演3 (15:50~16:20)

「油分解微生物を使った革新的排水処理技術 (仮題)」

名古屋大学 大学院工学研究科 教授 堀 克敏氏

質疑応答 (16:20~16:30)

閉会

【主催】 特定非営利活動法人バイオものづくり中部、名古屋大学協力会

【対象】 NPOバイオものづくり会員、会員からの招待者、その他

【参加費】 無料 (懇親会は会費制 1,000 円、NPO 会員及び NPO 会員からの招待者は無料)

【懇親会】 (16:45~18:00) 同会場 12階 1206

【申込先、連絡先】 NPO バイオものづくり中部 事務局 担当: 上井

〒460-0003 名古屋市中区錦 1-5-32 錦KTビル4階 (藤浪会計事務所内)

電話/FAX: 052-203-2053 E-mail: support@bioface.or.jp

.....

☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会新春講演会及び懇親会

【開催日時】 平成29年 1月26日 (木)

【開催場所】 ウィンクあいち・愛知県産業労働センター (名古屋駅前)

13階 1301会議室 052-571-6131

【新春基調講演】 15時00分~17時00分

「林業と工業をつなぐ ~樹木細胞壁の工業規格化~」

三重大学地域イノベーション推進機構特任教授・三重大学名誉教授 船岡正光氏

【新年懇親会】 17時30分~19時30分

場所 キャッスルプラザホテル 地下一階 ビストロ・ドファンドール
(愛知県名古屋市中村区名駅4丁目3-25)

【お申込み】参加費 講演会費 会員無料 会員外 1,000 円
新年懇親会費 会員 お一人無料、会員お二人目から 5,000 円
会員外 5,000 円

下記事項をご記入のうえ、下記メール宛てに件名を添えてお送り下さい。

C R N事務局行き E-mail : gt-keisoku@re.commufa.jp

「1月26日(木)のC R N [研究会例会]」

研究会 出席 又は 欠席

懇親会 出席 又は 欠席

所属： 氏名：

.....

☆平成28年度 Mip 特許塾「三度の飯より特許塾 ～攻守の要は知財なりの巻～」
(三重大大学)

【開催日時】平成29年1月27日(金)～2月10日(金)の間に2回開催

【開催場所】三重大大学 社会連携研究センター 3階 研修・会議室

【対象者】三重県内の企業の方と教員及び学生、知的財産に関する知識を深めたい方

【参加】参加費無料、定員各回20名(定員になり次第、申し込み締切)

【日程】

◇第3回 平成29年1月27日(金) 18:00～20:10

「広くて強い特許はどのように作られるのか ～ 保護範囲が広く、しかも無効にされない
ために～」 講師 日本大学大学院知的財産研究科教授 加藤 浩氏

◇第4回 平成29年2月10日(金) 18:00～20:10

「知恵と知財でがんばる企業の考え方 ～ 強い企業は特許・ノウハウ戦略を持っている～」
講師/未定

【案内チラシ】 http://www.mie-u.ac.jp/topics/events/pdf/20161028~20170210_Mip.pdf

【問い合わせ先】三重大大学 社会連携研究センター 知的財産統括室

TEL : 059-231-5495 FAX : 059-231-9743

E-mail : chizai-mip@crc.mie-u.ac.jp

.....

☆日本分析センター講演会

【開催日時】平成29年2月28日(火) 13:50～

【開催場所】愛知県女性総合センター ウィルあいち 大会議室

【講演内容】

「におい分析について ～異臭分析を中心に～」

日本食品分析センター 小木曾基樹氏

「HACCP をとりまく最近の話題」

日本食品分析センター 植田浩之氏

詳しくは下記の URL にあるご案内をご覧ください。

<http://www.jfrr.or.jp/news/files/nagoya20170228.pdf>

【お申込方法】 添付文書の申込書に必要事項をご記入の上、当メールへのご返信または
FAXにてご返信下さい。 ホームページからお申込みができます。

⇒ <http://www.jfrr.or.jp/news/2016/12/228-1.html>

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催
するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下
記の通りです。 <http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成28年度・29年度競争的研究資金等について

☆平成28年度 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「緊急対応研究課題」
(第4回公募)」(農林水産省)

<http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/161228.html>

分野等：堆肥に残留する低濃度クロピラリド(除草剤成分)の定量法の開発及び作物被
害との関係解明のための調査研究

公募期間：平成28年12月28日～平成29年1月19日

.....

☆産学共同実用化開発事業(NexTEP)平成28年度一般タイプ(通常募集) (JST)

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_ippan01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴
う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究
成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

.....

☆産学共同実用化開発事業(NexTEP)平成28年度未来創造ベンチャータイプ
(通常募集) (JST)

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_mirai01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴
う規模の大きい開発のうち、ベンチャー企業が行う、未来の産業創造に向
けたインパクトの大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学
等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成28年10月26日～平成29年3月31日

.....

☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステップ3；NexTEP-A タイプ
（平成28年度第3回）（JST）

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年11月30日～平成29年3月31日

.....

☆平成29年度新エネルギーベンチャー技術革新事業（NEDO）

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100139.html?from=nedomail

分野等：太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス利用、太陽熱利用及びその他の未利用エネルギー分野並びに再生可能エネルギーの普及、エネルギー源の多様化に資する新規技術（燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等）。

公募時期：2月上旬公募開始（予定）

.....

☆平成29年度戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000192.html

分野等：

1. 重点領域型研究開発（ICT重点研究開発分野推進型）
2. 若手 ICT 研究者等育成型研究開発（中小企業枠）
3. 地域 ICT 振興型研究開発

公募期間：平成29年1月6日～2月6日

.....

☆ ICT イノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術（Tokyo 3D Mapping）
- (3) 以心伝心ICTサービス基盤
- (4) フレンドリー ICT サービス技術
- (5) 社会インフラ維持管理サービス技術
- (6) レジリエント向上ICTサービス技術
- (7) 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広く ICT そのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野と ICT との融合を図ることにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技

術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC（Proof of Concept：概念検証）に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～（28年度中はいつでも応募可能）

.....
☆平成29年度厚生労働科学研究費補助金（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000145094.html>

分野等：食品医薬品等リスク分析研究事業等

公募期間：平成28年12月22日～平成29年1月27日

.....
民間等研究資金

☆イムラ・ジャパン株式会社：「第1回先進シーズ研究への研究助成」

<http://www.imra-japan.com/research/award.html>

分野等：微生物の産業利用に関する研究（医療、薬剤は除く）

公募期間：平成28年12月1日～平成29年1月13日

.....
☆公益財団法人日本食品化学研究振興財団：「平成29年度研究等助成」

<http://www.ffcr.or.jp/>

分野等：

1. 一般研究助成

- (1) 食品添加物の安全性等に関する研究
- (2) 食品添加物の有用性、性能および使用技術等に関する研究
- (3) 食品添加物の品質、規格および製造方法等に関する研究
- (4) その他食品化学領域における調査・研究

2. 課題研究助成

- (1) 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究
- (2) 食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安定性向上に関する研究
- (3) 各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物および食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究
- (4) 高齢者・病者・障害者等のため食品添加物を利用した食品・食品成分補給方法の開発研究
- (5) 各国における食品添加物規制の実際と比較に関する調査、研究

公募期間：平成28年11月15日～平成29年1月15日

.....
☆公益社団法人新化学技術推進協会：「第6回新化学技術研究奨励賞」

http://www.jaci.or.jp/recruit/page_02_06_2017.html

分野等：

特別課題：災害時の安全・安心の確保、被害の軽減と災害からの復旧・復興に貢献する化学技術に関する研究

課題1：グリーン・イノベーションを推進するための資源・プロセス・評価技術に

関する環境技術の研究

課題 2：新しい資源代替材料・技術の創製、および資源の節約・回収・再利用に関する基盤的研究（エネルギー資源、食料・水資源を含むものとする）

課題 3：バイオマスの構造を活かした高機能材料および化学品に関する研究

課題 4：創電・エネルギー貯蔵分野における革新素材・技術に関する研究

課題 5：エレクトロニクスの未来を支える新規材料・技術・プロセスに関する研究

課題 6：マイクロナノシステム用途の拡大につながる新規な材料・プロセスおよびデバイス技術に関する研究

課題 7：高効率物質生産に必要な新規バイオプロセスの構築に関する研究

課題 8：生体分子を利用した、またはその構造と機能に着想した新規機能性材料の実用化を目指した研究

課題 9：材料の設計・製造・解析・評価を先導する計算機を活用した研究

課題 10：日本のものづくり強化と新産業創出に資する「新素材」実現のための基礎的・基盤的研究

課題 11：革新的触媒技術による次世代グリーンイノベーション創出に関する研究

公募期間：平成 28 年 1 月 1 日～平成 29 年 1 月 16 日

.....

☆公益信託伊藤徳三ひまし研究基金：「平成 29 年度研究助成金」

<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

分野等：ひま種子、ひまし油、ひまし油誘導体（リシノール酸、セバシン酸、ウンデシレン酸、2-オクタノール、12-ヒドロキシステアリン酸等）に関する次の研究を対象とする。

1. ひまし油・ひまし油誘導体の精密化学変換に関する研究
2. ひまし油・ひまし油誘導体を利用する機能材料及び生物活性物質に関する研究
3. ひま種子の増産に資する育種及び栽培技術に関する研究
4. 上記 1～3 以外のひまし油関連産業の発展に資する基礎・応用研究

公募期間：平成 28 年 1 月 1 日～平成 29 年 1 月 20 日

.....

☆公益財団法人日本応用酵素協会：「2017 年度研究助成」

<http://www.jfae.or.jp/assist/index.html>

分野等：酵素の応用研究、および生命科学に関連する酵素の研究

公募期間：平成 28 年 1 月 1 日～平成 29 年 1 月 22 日

.....

☆一般財団法人旗影会：「2017 年度研究助成」

<http://www.nakashima-foundation.org/kieikai/entry/index.html>

分野等：

<一般助成> 以下の分野に関する研究

1. 畜産（生産および加工）
2. 農産（生産および加工）
3. 食品工業（食品工学、食品化学、食品機能、食品衛生、調理科学など）

＜特別助成＞一般助成に示す分野のうち、タマゴに関する研究（タマゴの新規活用、健康機能、衛生、調理科学、食文化など）

公募期間：平成28年12月上旬～平成29年1月31日

☆公益財団法人深田地質研究所：「平成29年度深田研究助成」

<http://www.fgi.or.jp/?p=3207>

分野等：

1. 地質学に関する研究・調査
2. 応用地質学に関する研究・調査
3. 地球物理学に関する研究・調査
4. 地盤工学に関する研究・調査
5. 環境工学に関する研究・調査
6. 防災工学に関する研究・調査

公募期間：平成28年12月1日～平成29年2月3日

☆公益財団法人三菱財団：「平成29年度自然科学研究助成」

<http://www.mitsubishi-zaidan.jp/support/index.html>

分野等：自然科学のすべての分野にかかわる独創的かつ先駆的研究

公募期間：平成29年1月10日～2月7日

☆特定非営利活動法人日本分子生物学会：

「第7回（2017年）日本分子生物学会 若手研究助成」

<http://www.mbsj.jp/admins/tomizawafund/7th-boshuu.html>

分野等：分子生物学に関連する生命科学の基礎的な領域において独創的な研究を行い、将来の発展を期待し得る若手研究者

公募期間：平成29年1月13日～2月10日

☆公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会：

「平成29年度（2017年度）研究助成金」

<http://vitabio.sakura.ne.jp/jyosei.html>

分野等：ビタミン・バイオフィクターに関する研究

公募期間：平成29年1月10日～2月10日

☆公益財団法人山田科学振興財団：2017年度研究援助」

http://www.yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu_kenkyu.html

分野等：自然科学の基礎的研究

公募締切日：平成29年2月24日

☆一般財団法人糧食研究会：「2017年度研究テーマ募集」

<http://www.ryouken.or.jp/josei/index.html>

分野等：食品機能、健康・栄養、食品加工技術、食品安全などに関する研究

公募期間：平成28年11月18日～平成29年2月28日

.....

☆公益財団法人畠山文化財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.ebara.co.jp/csr/foundation/topics.html>

分野等：環境・エネルギー・バイオマス 等

公募期間：平成29年1月10日～3月6日

.....

☆公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/subsidy.shtml>

分野等：

1. 豆類や穀類の生産技術（栽培、育種、植物栄養、根圏微生物等）に関する研究
2. 豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能（栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等）に関する研究
3. 豆類や穀類の加工、保蔵、流通技術に関する研究、並びにそれらの発酵に関連する微生物や酵素の探索、特性、利用に関する研究

公募期間：平成29年1月15日～3月10日

.....

☆一般財団法人杉山報公会：「平成29年度研究助成金」

<http://www.sugiyama-houkokuai.or.jp/joseib.html>

分野等：主として「健康な暮らしを支える産業に寄与することを目的とする研究」とし、
医薬、食品、健康、環境、衛生等の分野に結びつく研究領域とする。

公募期間：平成28年9月1日～平成29年3月31日

.....

☆一般財団法人東和食品研究振興会：「平成29年度学術奨励金」

<http://www.towashokuhin.or.jp/academic/index.html>

分野等：

1. 食品の加工・保蔵に関する研究
2. 食品の安全性に関する研究
3. 食品の機能性に関する研究
4. 食品または水産分野におけるバイオテクノロジーに関する研究
5. 食品の未利用資源（または廃棄物）の有効利用に関する研究
6. その他食品科学に関する研究

公募期間：平成28年12月9日～平成29年3月31日

.....

研究開発関連以外の補助金

☆平成28年度補正・革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金

(全国中小企業団体中央会)

http://www.chuokai.or.jp/hotinfo/28mh_koubo_2016nov-.html

分野等：国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するため、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を支援する。

公募期間：平成28年11月14日～平成29年1月17日

.....

農林水産業・食品分野の新技术情報の紹介

○飼料用米に適した水稻新品種「オオナリ」を開発 ～10アール1トンの超多収～

本成果は、昨年12月に公表された2016年農林水産研究成果10大トピックスに掲載されたものです。農研機構は、飼料用米に適した水稻新品種「オオナリ」を開発しました。多収品種「タカナリ」の脱粒性を改善することにより、収穫期の損失が減少し、これまでで最高レベルの収量性を示しています。「オオナリ」の普及により、飼料用米の生産コストの削減が期待されます。

・2016年農林水産研究成果10大トピックス

<http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/attach/pdf/161220-2.pdf>

○畜産関係：養豚農家で使える受精卵移植技術の実証に成功

～伝染病侵入の危険が少ない種豚導入に期待～

本成果は、昨年12月に公表された2016年農林水産研究成果10大トピックスに掲載されたものです。佐賀県畜産試験場は、農研機構動物衛生研究部門など5研究機関と共同で、一般養豚場に輸送した凍結保存受精卵を、開腹手術をせずに母豚に移植し子豚を生産することに成功しました。この技術の普及によって、受精卵での種豚導入が可能となります。これにより、種豚の移動が不要となるため、伝染病侵入リスクの低減や輸送の際に生じる経費削減や省力化が期待されます。

・2016年農林水産研究成果10大トピックス

<http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/attach/pdf/161220-2.pdf>

.....

編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご高配にあずかり、誠にありがとうございました。会員皆様方のご繁栄を心からお祈り申し上げますとともに、本年もご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます

2017年は、米国の新大統領の就任、欧州における政治動向などにより、世界的に不透明性が増すとの懸念があり、また、世界的に異常気象の頻度が増える傾向にありますので、経済動向、作柄等に注意を払い、企業活動のリスク管理に万全を期していく必要があ

ります。

また、東京オリンピック・パラリンピック開催への準備が急ピッチで進められますので、国際情勢や経済が安定した状態で推移することが望まれます。東海地域からの食材や建設資材等の東京オリンピック・パラリンピックとその建設への提供、大勢の訪日客が東海地域にも足を運んでもらえるような取組も重要となってきます。

ところで、最近読んだ本に武蔵原一人著、「見込みゼロ客をヘビーリピーターに変える『スゴい営業の仕組み』」（幻冬舎・経営者新書、2016年10月発刊）があります。著者は、住宅リフォーム会社の営業畑を長く経験し、トップ営業マンとして営業活動の問題点を知り尽くした後に、1人で建設会社を起業しました。そして、かつての経験を活かして、「全く関係のなかったお客をヘビーリピーター」にすることによって経営を安定させ、営業マンに「ノルマ」を課さないで楽しく仕事をしてもらえる会社にしています。この会社はリフォームを主として行う従業員数40名の小企業ですが、これまで築いてきた「まごの手宅配便」のさらにその先、時代に即した新たな仕組みを作ってお客をヘビーリピーターにすることを考えています。業種が違って、需要拡大が望めない中で何とか安定経営を成し遂げたいと考えている経営者や管理職の方にとって、本書はいろいろ参考となり、示唆に富んだ一冊であると思われます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>